



昭和3年(1928)春日大社での真榊奉納舞をする芸妓たち

写真提供：元林院写真ギャラリー



1250年遷都祭・昭和35年3月10日行列

元林院検番の芸妓22名動員 写真提供：谷井氏



現在、元林院花街の文化の伝承と復興に努めている「菊乃」さん

写真提供：奈良・元林院花街復興プロジェクト

## 【26】元林院花街と芸妓さん

元林院町（がんだりんちょう）は、かつては興福寺の別院があった場所で、江戸時代には絵師の住む町だった。明治5年から芸妓置屋（屋形）の開業の許可を得て花街（かがい）元林院として栄えた。当時は置屋業を営んでいたのは5軒。大正末から昭和初期の最盛期では16軒あり芸妓は200人を超す花街でした。戦後も昭和30年代まで華やかな時代が続いたが、40年代から減少していった。

現在、芸舞子は5人余りですが、奈良・元林院花街復興プロジェクトの「菊乃さん」が中心となり元林院花街の文化の伝承と復興に努められている。